



# 農林中央金庫

平成 27 年 12 月 24 日

国立大学法人北海道大学大学院農学研究院  
農林中央金庫

## 農林中央金庫からの寄附による北海道大学大学院農学研究院への研究室新設について

- 1 北海道大学大学院農学研究院は、農林中央金庫（理事長 河野 良雄）からの寄附により、平成 28 年 1 月から、農学研究院連携研究部門「協同組合のレーゾンデートル研究室」を開設することとしましたので、お知らせ申し上げます。
- 2 TPP 加入をめぐる議論に示されるように我が国の農業は重要な岐路に立たされており、グローバル化が進行する中で、日本農業を支えてきた農業協同組合の社会的役割は益々重要性を増しております。本研究室は、その存在意義を学問的に明らかにし、それに寄与しうる人材を育成するとともに、広く協同組合を社会的にアピールすることを目的に新設するものです。
- 3 北海道大学大学院農学研究院には、全国唯一の協同組合学を専門とする「協同組合研究室」が設置されており、農協の基盤である地域農業の分析、農協事業展開のあり方、協同組合の次世代の担い手に関する研究を進めています。この研究・教育をさらに高度化、活性化するために、平成 28 年 1 月に「協同組合のレーゾンデートル研究室」を新設し、協同組合の農業・農村振興に果たす意義や機能、消費者との協同組合を通じた連携について研究・教育し、協同組合の存在意義について情報発信していきます。本研究室は、大学院共通授業科目として「アジア農業協同組合論」を平成 28 年度から開講し、市民向けの公開講座「協同組合のレーゾンデートル」も平成 28 年度から開催することとします。
- 4 農林中央金庫は、農林漁業協同組合等の出資により設立された協同組織金融機関として、金融を通じて我が国の農林水産業や社会経済の発展に貢献することを目的としております。CSR 活動の一環として、これまで全国の主要 6 大学に寄附講座を設置し、農林水産業・金融に関する研究・教育活動の増進や当該分野で将来を担う人材育成を支援してきました。北海道大学大学院農学研究院に新設される「協同組合のレーゾンデートル研究室」についても、北海道大学の学生が農業・農村、協同組合に対する理解を深める機会として、また、協同組合に関する研究成果を情報発信していくことについて、有益なものであると認識しております。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

北海道大学 農学研究院協同組合学研究室（担当：正木）TEL011-706-4936

農林中央金庫 総合企画部広報企画室（担当：田口、三上）TEL03-5222-2017